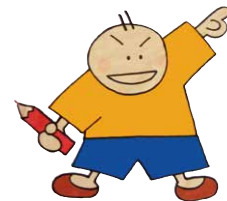


# 生活者ネットニュース



■発行：多摩・生活者ネットワーク ■発行責任者：原田恭子 ■連絡先：〒206-0014 多摩市乞田 1227-1-112 番地  
 ■TEL:042-376-5758 ■FAX:042-376-8854 ■ホームページ http://www.tama-net.jp/ ■E-mail:office@tama-net.jp

156号

## インクルージョン教育は未来を拓く 地域に住む子どもは一緒に教育を！

日本は2007年、すべての障がい者の権利と尊厳を守る国連「障害者の権利に関する条約」に署名、2014年に批准しました。それを受けて文部科学省は、障がいのあるなしに関わらず一緒に学ぶインクルーシブ（包み込む）教育構想を打ち上げています。しかし、障がいのある子どもたちの特別支援学級・学校への入学希望者は年々増えています。

### 就学時検診を地域の学校に入るための準備に

文科省のインクルーシブの解釈は「教育的ニーズ」に最も的確に答える指導として、能力に応じて多様な学びの整備を行っているとしています。学校保健安全法第11条では、入学が予定される子どもへの市区町村による就学時健康診断を義務づけていますが、心身に不安のある子どもや親にとって緊張する場面でもあります。

現在はここで強く希望を伝えることで地域の学校に行くことができるようですが、学校でのいじめの問題などを聞き、手厚い指導がある特別支援学校を選択することが多いのが現状です。



市内の小学校、元気な声が飛び交う下校時間

### 人生の醍醐味を 分かち合う社会に

また、教育委員会がこの検診の結果を受けて進学先を決定する構造になっていますが、あくまでも当事者が決定することと位置付けるべきでしょう。

海老原宏実さんのことをご存じですか？彼女は1歳半で脊髄性筋萎縮症と診断されましたが、親と本人の希望で高校まで普通校に通いました。「基本は教育にある」と、2016年東大和市は障がいのある子どもが地域の学校に通えるよう就学支援を行う「教育プロジェクト」を立ち上げています。彼女は2021年12月、44年の短い生涯を閉じましたが、力強いメッセージを残しています。「一様性の人間のみの集団の中では正解は常に一つに絞り込まれそれ以外答えがあることが分からない。いろいろな答えがあることが大事。障がいのある子が入ることで、正解は崩れていく」という。確かに障がいのある子どもが普通校に通うことは親も子どもも大変です。し



7月10日、多摩ネットの福祉部会で唐木田地区の公園のトイレを調査

### 学校はもっと自由で 楽しく学べる場に

いま、学校現場は国際化に対応すべく英語教育の低年齢化、デジタル化への対応など様々な課題が突き付けられ、そこにコロナ禍が拍車をかけています。「学校は生徒も教師も疲弊している」と昨年、大阪市木川南小学校の校長・久保敬さんが市長あてに提言書を出しました。学校とは「信用や信頼を身に着け互いが学び合う、遊び合う。共有できる時間や空間を一緒に過ごせる場

かし、「人生は何があるか分からないから面白い。つらいことや悲しいことも引き受けることが人。それを子どもの人生から奪い取っていいのか。」と。

### 実現に向けての努力を 惜しまないで

多摩市に住んでいる木村英子さんは重度障がいを持っても地域で暮らせる社会をと運動を長年続けていました。2019年の参議院選挙で当選して今国会で活躍しています。力強い先駆者がいるのです。いま、多摩センターにある中央公園に誰でも遊べるバリアフリーの遊具を設置しようとする親御さんも参加して計画が進んでいます。少しずつですが、変わってきています。

教育とはなにか？学校は何を学ぶ場所なのか？未来の子どもたちのために真剣に考えなくてはなりません。黙ってはいけません。未来の共生社会を見据えてこんな学校にしたいと一緒に声を出していきましよう！

### ありの眼 公園での出会いを 楽しみに

4人目の息子がダウン症体質があります。龍円愛梨さんのブログと出会い、インクルーシブ公園を知った私。公園で遊ぶ事を諦める人がいるという事実を知り、多摩市にもインクルーシブ公園をつくりたいと思い、2019年秋頃から自分ができることを見つけて牛歩ですが行動してきました。

「インクルーシブ公園って何？」からのスタートでしたが、幸運な出会いが続き多摩中央公園にできる予定の固定遊具がインクルーシブ遊具になるところまで来ました。インクルーシブ公園はみんなが遊べる公園です。公園で遊ぶことを諦めていた人たちが遊べる公園があちこちにできれば、いろいろな体質や特性の人がいることを、公園、公共施設、保育園、幼稚園、学校など、日常生活の中で自然に知り関わる機会ができます。

多様性を認め合い、マイノリティの人たちの特性も活かされる居心地良い多摩市になりますように。今息子が市内の小学校の通常級に楽しく通っているの、この願いは多摩市でいつか叶う気がしています。

早津あゆみ(永山在住)



### 人事に 市長の姿勢を問う!

■環境について  
今、市は気候非常事態宣言発令中です。そのため、学校の5〜6回のプールも暑すぎず入れないため、民間などの室内プールを利用してあります。是非、子どもたちには、この手法は成果ではなくやむ負えない代替策であること、宣言を解除できるために、どうしたらいいかを学ぶ場が必要です。

■人事について  
6月議会では4期目となった阿部市長の所信表明に対し代表質問を行いました。  
2人の副市長のうち1人が東京都から、健康まちづくり政策監として1人が国から来て頂いています。一見、スマートな市の運営に見えますが、地方分権、市民自治の視点から果たしてどうなのでしょう。国や都の職員への庁内の配慮や遠慮が出ることの懸念を指摘しました。市には人材がいらないのでしょうか。どうしても納得できない人事です。



### 子どもの主体を育む 計画を!

■子どもの意見を尊重し  
学校生活において、とくにトランスジェンダーの子どもはトイレ利用に悩みを抱えると聞いています。女子トイレは全て個室であり排泄する姿を見られないことは当然としています。「切れ目のない支援のため」にも学校の役割を盛り込む必要があります。  
子どもたちの主体を育む計画を策定するとして、切れない支援のためにも学校の役割を盛り込む必要があります。

■計画の可視化を共有して  
子どもたちの身近な行政として重要な役割は、多摩市に住んでいる子どもたちの現実に対応した施策を行うことであり、計画は市民にとって市がどう動くのか可視化できるものです。条例を生かしたまちづくりに学校は欠かせません。

■子どもの権利  
国は6月15日、子ども施策の基本理念となる「こども基本法」を衆議院本会議で可決成立しました。1994年子どもの権利条約批准以来、ようやく法が成立しました。子ども家庭法ではなく、こども基本法とし、子どもの権利条約の精神に則るとし、子どもの年齢を心身の発達の過程にある者とし、子どもの権利が明記されました。市も子どもの権利保障の条例を施行しましたが、法がここまで整った以上、市は理念条例だと言っている場合ではありません。虐待、ヤングケアラー、貧困など具体的な早い対応策が求められます。

## 行ってきました 町田市薬師池公園四季彩の杜 西園

### ◆池、花、動物…

#### 一つの公園エリアにいろんな楽しみ

今、多摩市内の公園のリニューアルが進んでいます。どう変えていけばもっと市民が集える公園になるのか、ヒントを求めて6月9日、「町田市薬師池公園四季彩の杜 西園」を見学しました。

四季彩の杜は「薬師池公園」「ぼたん園」「ダリア苑」「えびね苑」「リス園」ほかの複数施設で構成されていますが、新たに開園した「西園」は指定管理者による運営とおしゃれな雰囲気、一気に若い人たちを引きつけました。

#### ◆おしゃれな「農」の雰囲気集客

道路からすぐの駐車場、目の前の直売所越しにはみどりの丘が見えます。直売所で売られている地場生鮮品はインスタ映えを意識した小分けのカラフルなパッケージ。すぐ上にある開放的なカフェでも使われているそうです。公園の中にJAが受託する農業用ハウスが並ぶことからわかる通り、西園は「農」を基軸にした観光で地域経済を活性化しようとしているのだそう。

#### ◆受け入れあいながら、

#### お互いが楽しむ風土をつくっていく

手ぶらでキャンプが楽しめる丘の上のグラウンディングエリア(ここでも地場野菜!)は、雨でバーベキューができない場合、カフェの

コース料理がいただけるそう。体験農業エリアを目指して丘を下ると、手すりやベンチ、ゆるやかなスロープと滑らかな路面が膝関節に有難い!また、わんこ好き、虫好き、野草好きの人がいる一方でアンチの人も利用するのが公園というもの。在来植物保護の看板や、「わんこマーク」看板(キャプション参照)、かなりハチ目線のハチ注意喚起の看板など、いたるところでメッセージに遭遇します。禁止事項の羅列でなく、公園が素敵な場所になるように一緒に考えてほしいと願う代表企業、富士植木さんの運営の姿勢が伝わってくるとともに、公園って、そうやって育っていくんだなーと気づかされた見学でした。

(環境部会 向井佳穂理)

<https://machida-shikisainomori.com/>



左…優しいスロープ 右…犬の落とし物のあったところに置く「わんこマーク」  
下…ハチの注意喚起看板

あなたの周りでスズメバチやアシナガバチが飛び回っても、恐らく攻撃するつもりはありません。  
『動かずじっとして』どこかへ飛んでいくのを待つか、『ゆっくり』その場から立ち去ってください。

## information

### 第31回多摩市平和展のお知らせ

7月23日(土)から31日(日)まで、パルテノン多摩で今年も平和展が開催されます。大規模改修期間は公民館やコミセンで小規模分散開催をしてきましたが、3年ぶりにパルテノン多摩での開催です。新設オープンスタジオでは多摩火工所とその後継動員された少女たちについてと題して、おなじみ神子島健さんとパルテノン多摩学芸員の橋場万里子さんをお迎えします。

また新設キッチンラボでは、恵泉女学園大学国際社会科学科の斎藤さんもお越しです。  
小ホールでは復帰前から沖縄を取材してきたジャーナリスト森口諭さんの活動をたどった永田浩三監督の映画「命かじり」森口諭沖繩と生きる」上映と対談。  
多摩市制施行50周年記念事業にふさわしい未来志向の平和展に皆さんもぜひ!

### 今さら聞けない!? 分別はむずかしい

汚れている缶は「燃やせないごみ」ですが、食用油が入っていた缶は「燃やせないごみ」ではなく「金属」で出せます。

かえって  
きました